

# 第 1 4 期 3 回八尾市図書館協議会会議録

平成 1 7 年 2 月 1 7 日(木) 午前 10 時 ~ 1 2 時 八尾市立八尾図書館

## 1. 出席者(敬称略)

藤井 威	(八尾市校長会)
森 弘和	(八尾市生涯学習センター学習プラザ運営審議会)
中浜 多美江	(八尾市女性団体連合会)
塩入 幸子	(青少年育成連絡協議会)
中村 恭三	(大阪芸術大学建築学科)
岩崎 秀	(大阪府立中央図書館)
本川 敏一	(大阪市立中央図書館)
柏木 順子	(八尾市議会議員)
長野 昌海	(八尾市議会議員)
隈 美智子	(こぐま文庫)
赤井 尚子	(やお絵本の会)

## 職員

巽 完次	(生涯学習部長)
川口 哲廣	(八尾図書館長)
南野 隆雄	(山本図書館長)
藤林 嘉明	(志紀図書館長)
谷口 正文	(八尾図書館長補佐)
葭矢 利夫	(八尾図書館主幹)
喜多 由美子	(八尾図書館司書)

案件 議事 1. 生涯学習部長挨拶

### 2. 議題

- (1) 平成 1 6 度事務事業実績報告
- (2) 祝日(文化の日)開館の試行結果について
- (3) 図書館利用に関する調査(アンケート)結果について

### 3. その他

## 議事内容

(南野)おはようございます。それでは定刻となりましたので、これより第 14 期第 3 回八尾市図書館協議会を開催いたします。委員の皆様方には何かとご多忙のところ、ご出席賜りましてありがとうございます。それでは、会議に入る前に昨年 12 月 21 日付けで図書館について人事異動がありましたのでご紹介させていただきます。新しい八尾図書館長に学校教育部の川口次長が生涯学習部次長兼八尾図書館長として就任いたしております。川口館長でございます。よろしく願いいたします。

(館長)川口と申します。よろしくお願いいたします。

(南野)それでは引きつづきまして、開会にあたりまして、異生涯学習部長よりごあいさつを申し上げます。

(異)おはようございます。委員の皆様方には何かとお忙しいところ早朝から図書館協議会にご出席賜りまして本当にありがとうございます。さて、図書館は市民の身近な生涯学習施設として、市の施設として最も多く市民の方々に利用していただいております。本市では図書館サービスの充実を図るために、昨年1月に「八尾市図書館サービス計画」を策定し、今年度よりその具体化に向け努力しているところでございます。

後ほど事務局から説明があると思いますが、11月3日(文化の日)に祝日開館ということで、施行実施を行なったところでございます。この祝日開館の施行にあわせまして、図書館の利用に関するアンケート調査を行ない、約2000人から回答が寄せられたところでございます。今回の調査は「利用者満足度調査」の観点からも行い、祝日開館や夜間開館だけではなく、これからの八尾市立図書館の目指すべきサービスについても多くの意見が寄せられたところでございます。大いに参考になると考えております。

「図書館サービス計画」の実現には多くの課題がございますが、委員の皆様には今日の図書館のあり方、図書館サービスの充実に向けて、多くの意見をいただきまして、これまでのサービスの更なる改善取り組みたいと考えておりますので、何卒よろしくお願います。

(南野)ありがとうございました。それではこの後、本川会長に議事を進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。

(会長)皆さんおはようございます。早速ですが、議事に入りたいと思います。お手元に会議次第を配布されていますので、順を追って審議に入りたいと思います。

最初に「平成16年度事務実績報告について」ということで、事務局の方から説明願います。

(事務局)最初にまずお詫び申し上げます。本来では本日の資料につきましては事前にお届けさせていただきましたが、お目通しの上ご審議をお願いするところではございますが、作業が遅れまして、当日の配布となりました。以後注意いたしますので、よろしくお願いいたします。

それでは、平成16年度の事務事業実績報告を申し上げます。

(以下略)

簡単ではございますが、よろしくご審議お願いいたします。

(会長)事務局から年度途中でございまして、16年12月末までの実績ということで報告ありました。蔵書は増えていますが、利用状況で利用者数で数パーセント減ということでした。ご質問ご意見がございましたら。

事務局にお伺いしたいんですが、利用者数で減ということですが、利用者数で頭打ちという理解をされておられるのでしょうか。年度途中でそこまでの分析はされておられないかもしれませんが、今の時点で利用状況で何かお考えの点がありましたら、お伺いしたいのですが。

(事務局)開館日数等あまり変わりもありません。逆に2日程度今期の方が増です。一般、生徒、児童とそれぞれの区分ごとに減少しております。そろそろ頭打ちと感じています。

(会長)何かご意見ございませんでしょうか。

(中村)今のご説明で、特に大きな原因はないということでしたが、将来これからのいろんな意味で、目標値を掲げて頑張っていこうというときに、減少になったということですが、ぜひともその要因を今後分析していただきたい。

以前にも言いましたが、一般的に言われるのは資料購入費と貸出冊数というのは比較的比例関係にあり、密接な関係があると言われている。ここ何年かの資料費と貸出の比率を分析されたいかがということ、後半のアンケート調査結果については目を通していませんが、利用者が実際望んでいることと、現実の不具合があるのではないかというようなことも、あわせて見ていただければいいかと思います。

市民一人あたりの貸出冊数(貸出密度)は7冊ということで、一定水準にあるかと思いますが、まだまだ、先進図書館では高い数値を示しているところもあります。頭打ちという表現はまだ出さない方がいいのではないかと思います。

(会長)今のご意見に対して、事務局から何かありますか。中村委員からもありましたように、資料購入費が落ちれば利用も落ちると一般的に言われておまして、そういう意味では、図書館の図書費なり諸々との関係と貸出との分析は必要である。これから先にいただきますが、利用者アンケートで利用者の求めているものは何かということ进行分析し、図書館の現場に反映させていく必要があります。他に、16年度の実績についてご意見等はありませんでしょうか。

(中浜)八尾図書館では、利用者数を見れば、532人減とおっしゃったんですが、小学校でお話キッズなどを特にやられているボランティアのお母さん方に聞くと、閉館時間は5時までですが、時間をもう少し延ばしていただければ、仕事帰りとかにでも利用できるのではないかという声も聞かれるのですが。

(会長)先ほど伺ったことで言いますと、利用状況をもう少し高めるといえるならば開館時間について考えなければいけません。だからといって簡単にできるわけでもなく、そのあたりどういうふうにしたらいいのか、方針や考え方について伺いたいと思いますが。

(事務局)開館時間につきましては、アンケートの方でも取っておりますので、その際にご説明させていただきます。予定です。

(会長)「曜日別平均貸出冊数」という表を出して頂いていますが、これについての説明はありませんか。

(事務局)文化の日の開館と関わりがありますので、あわせてその際に説明させていただきます。

(会長)事業実績については後の議題とも関連するようなので、16年度の最終的な報告については次回あると思いますので、事務実績についてはこのへんで留めたいと思います。

それでは次に、議題として予定されております、祝日（文化の日）の開館の試行についてということで、先ほどから出ておりますが、利用に関するアンケート調査をされたということですので、事務局の方から、2、3をあわせて説明いただいて、その後、ご協議いただくということで進めたいと思います。

（事務局）試行の結果ですが、「曜日別平均貸出人数・冊数」という表をご覧ください。文化の日については、文化を薦めるという日であり、祝日開館の試行のために開館させていただいた。八尾・山本・志紀の3つの館で行い、開館時間は通常通り、午前10時～5時まででございます。利用状況については、表をご覧ください。利用者合計は、八尾図書館では331人、1466点、山本図書館については807人、2524点、志紀図書館629人、2253点、合計1767人、6243点です。これが11月3日に各館の状況であります。今回、初めてのケースであり、他の開館日との比較としては、表に上げたとおりです。（略）八尾図書館については平日の平均315人とあり、平日と比較して2割増になっています。土日平均と比較して、冊数にして79%。山本図書館については、平日並であり、土日と比較すると貸出冊数で73.5%に留まっている。志紀図書館では124.3%、土日の63.9%になっている。こういう状況から、八尾・志紀では平日よりやや多く、山本は平日並という利用があった。土日と比較すると、八尾図書館で8割、山本、志紀で6～7割程度の利用ということでした。

これ以外に利用者状況の特徴として、直近の日曜日等と比較した結果、あまり特徴となる傾向は見られなかった。土日を利用されている方が重ねて、祝日を利用されているということです。3館で新規登録で21人だった。これは通常の1日の登録者数の7割程度です。

特に一般勤労者層の利用が増えたというわけでもありません。利用者層から言いますと、平日利用できない一般勤労者層の利用が顕著に増えたというわけではない。職員体制は、日曜日については半数出勤であるが、祝日につきましては初めてということで全員出勤で望んだ。人数が異なり、単純な比較はできないが、職員の声からすると、平日より忙しいが日曜日よりも余裕があるようであるという程度だった。以上が祝日の利用状況です。

それと今回、祝日開館にあわせて利用者アンケート調査をおこなったわけです。お手許に「利用者アンケート集計結果」と「利用者アンケート調査結果」それと、10月に移動図書館でも別個アンケート調査を行ない、それが「移動図書館アンケート結果」であります。順次、「利用者アンケート調査結果」に基づき、説明させていただきます。利用者状況を把握するという目的があり、利用者アンケート調査をおこないました。

調査結果に基づいて利用者アンケート調査結果をご覧ください。利用者の立場からどう評価されているのか、利用者の立場からみた図書館ということで、アンケート調査を行なった。

（会長）利用者アンケートということで、内容は多岐にわたっています。まず、祝日について、続いてアンケート調査の結果について、ご論議いただけたらと思います。

まず、文化の日の開館についてということで、ご意見があればいかがでしょうか。

試行ということですが、今年以降も続けるということでもいいのでしょうか。試行ということであるが、3日だけなのか、祝日すべてに広げるのか事務局から説明いただきたい。

（事務局）他市の状況をみれば、文化の日という特定の祝日を開ける、土日に祝日が重なれば開館という方法もある。今回、試行ということで、特定の日に開館したわけであるが、アンケートを見た結果、

夜間については声があるが、夜間については整備という方向付けを致した上で、祝日開館の検討を行なう。17年度については、再度の試行ということで考えている。PR不足ということもあったので、いろんな問題についても精査できる。祝日開館については試行の調整ということで、検討している。祝日・夜間についても具体的に検討している。夜間についてもいろんな意見も頂いている。具体的な内容を積み重ねて一定の方向を出していきたい。

(隈) 祝日開館の宣伝の不足については、自らおっしゃったが、PRは大きなことである。どの程度おやりになったのか。

(事務局) 市政だより、チャオ等PR活動を2ヶ月程度行なった。そのあたりの期間につきましては、市政だよりにつきましては、その月のことということで、目に付きにくかった。これも検討の課題だったと思っている。

貸出の際は、利用者の方にお伝えした。

(中浜) 学校から家庭へ配布するというのはどうか。

(事務局) 学校にはチラシを配布している。特定の利用についてはPR不足であったと思われる。今回、準備期間も不足していたので、一番いい広報の方法を考えていきたい。

(赤井) 祝日の開館というのは、アンケートには8pのみになっている。アンケートの中には詳細がない。

(事務局) 開館日についてのみである。

(赤井) 個人的に感じたことであるが、宣伝不足であったということである。祝日は図書館は空いていないと認識しているので、もっと増やして欲しい。休みが図書館は多いと感じている。アンケートでもう少し祝日についても聞いて欲しかった。

(隈) 祝日と土日が重なったら開けるなど、検討して欲しいと思う。

(事務局) 土日の利用ですが、利用できない日の中で、平日7.8%...利用していただける日だと考えているので、段階的なありかたに向けての数字であると考えています。

(会長) ワーキンググループを立ち上げているということで、祝日・夜間も含めて、検討しているということなので、またその結果をご報告下さい。PR不足については、今後、努力して下さい。

11月3日の件はそれぐらいでよろしいか。

(岩崎) 出勤に関しては

(事務局) 振替です。

(会長) アンケート結果について、ご質問があればお伺いしたいと思います。

(塩入) インターネット予約ができない事情は何かありますか。

(事務局) 電算システムのハードの問題で、対応できるシステムの導入が必要。17年度については予算要求したが、認められなかった。18年度以降。そのあたりを含めて、システム上の問題があるということです。

(長野) サービスについてのアンケートであるが、丁寧であるということが多かったり、これは非常に皆さんの努力の結果だと思う。もう1つ、夜間についてこれだけ出てきているので、これは一歩進めていかなければならない。何度も夜間開館、図書館の立地条件も合わせて、これだけの要望があるので、またそういうニーズをこういう形で、結果を得たという、一歩進めた形で取り組んでいただきたい。検討段階であるが、一歩進めた形でお願いしたい。

(会長) 長野委員から出たが、いろんな意見がでたが、アンケート結果についてもどうしていくのかということについて、どういうふうにお考えになっているのか。

(事務局) 今回、自由意見についても相当いただいております。現在の体制でできるサービスについては、図書館サービスのあらゆる、具体的な解決策や、予算等必要なものを区分した上で、一定の結論を出していきたいと考えている。

(隈) アンケートの中でも館を増やすということもかなりでていますが、新図書館の進捗状況について分かる範囲で

(異部長) 私どもとしては、中央図書館ということを出るだけ早くと考えているが、市の財政状況はかなり厳しい状況である。病院跡地について、財政上厳しい状況にある。八尾図書館の老朽化という問題も含めて、考えなければならない。

(会長) ワーキンググループで考えていくということであるが、結果の報告などはどうする予定であるのか。

(事務局) 回答者の方からも公表はどうなっているのかということもあるので、最終的に公表は考えている。

(会長) 逆に公表することで、課題が明らかになるのでしんどいけれども行なって欲しい。進め方とすれば今おっしゃったとおりである。予算の関係もあるので、

(部長) 出来るものからやっていくということに変わりはありません。

(赤井) 抜けていることもあると思うので、公表していただいたらいいと思います。

(中村) 地域にすんでいる人への意識調査はありましたか。もし、理解できれば、全域に万遍無く図書館が意識されているかもわかるのでは。

(会長) 八尾市民全体についても必要ではないかということで、アンケートについてはこれでよろしいか。特にないでしょうか。その他ということで何かありませんか。特にないようでしたら、これで終わらせていただきます。